

## 7 公金のキャッシュレス化の推進について

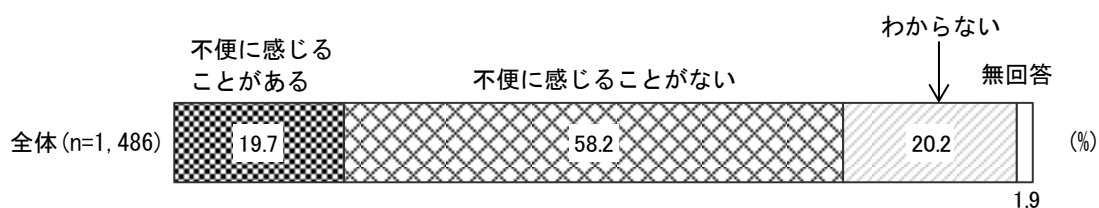
### （1）公金の納付に当たり不便と感ずることの有無

◇「不便に感ずることがある」が約2割

県では、収納方法について、県民の皆様の利便性や事務の効率性の観点から「キャッシュレス化の推進」に向けて取り組んでいます。

問38 あなたは、税金や使用料・手数料などの県の公金の納付に当たり、不便と感ずることがありますか。（○は1つ）

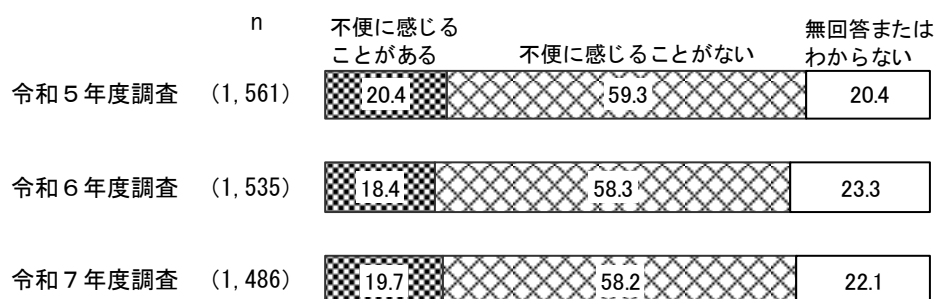
＜図表7-1＞公金の納付に当たり不便と感ずることの有無



税金や使用料・手数料などの県の公金の納付に当たり、不便と感ずることがあるかを聞いたところ、「不便に感ずることがある」（19.7%）が約2割となっている。

一方、「不便に感ずることがない」（58.2%）が約6割となっている。（図表7-1）

〔参考〕令和5年度・6年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



#### 【地域別】

地域別にみると、「わからない」は“山武地域”（32.5%）が3割を超えて高くなっている。

（図表7-2）

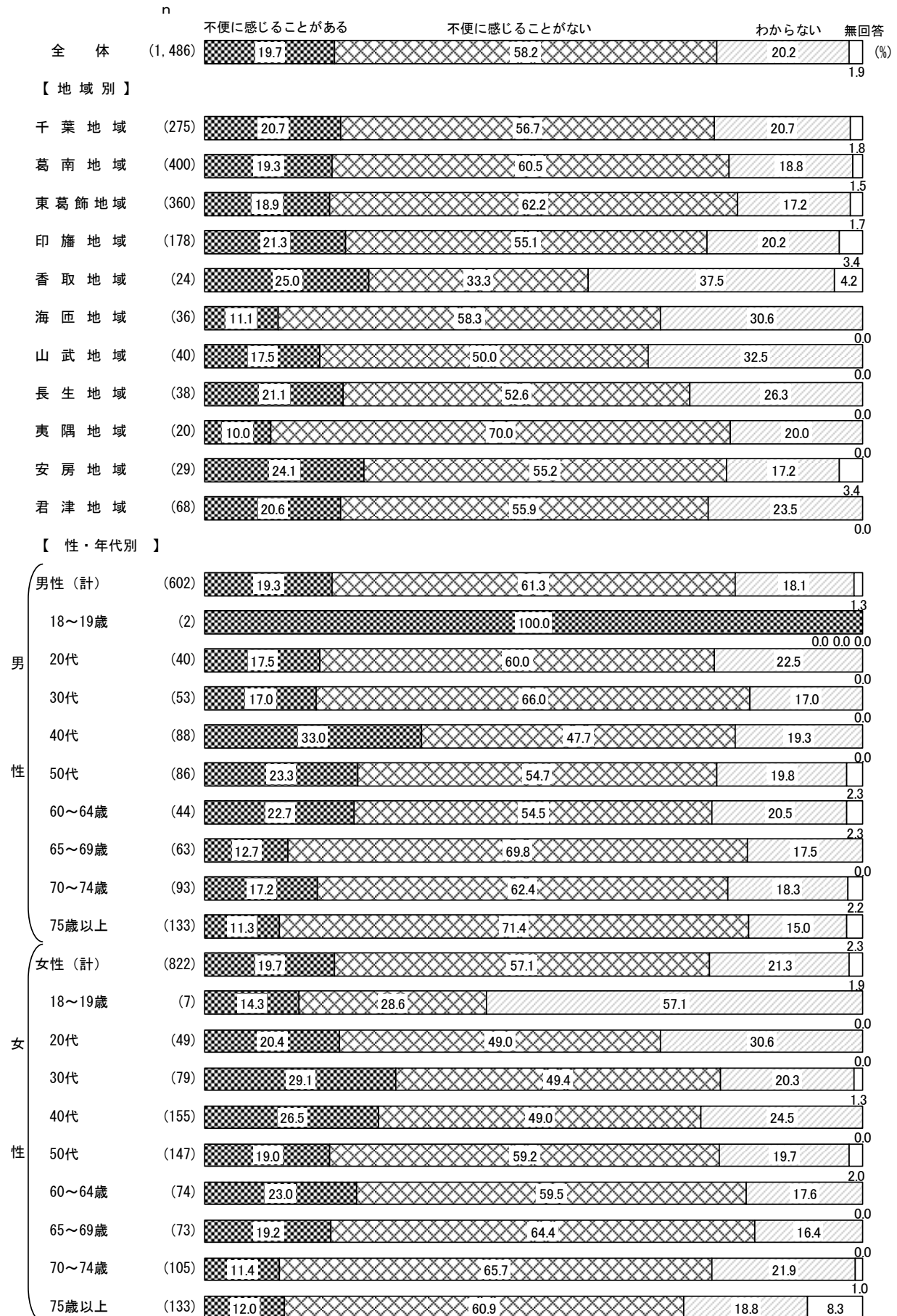
#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「不便に感ずることがある」は男性の40代（33.0%）が3割を超え、女性の30代（29.1%）が約3割、女性の40代（26.5%）が2割台半ばで高くなっている。

一方、「不便に感ずることがない」は男性の75歳以上（71.4%）が7割を超えて高くなっている。

（図表7-2）

＜図表 7－2＞公金の納付に当たり不便と感ずることの有無／地域別、性・年代別



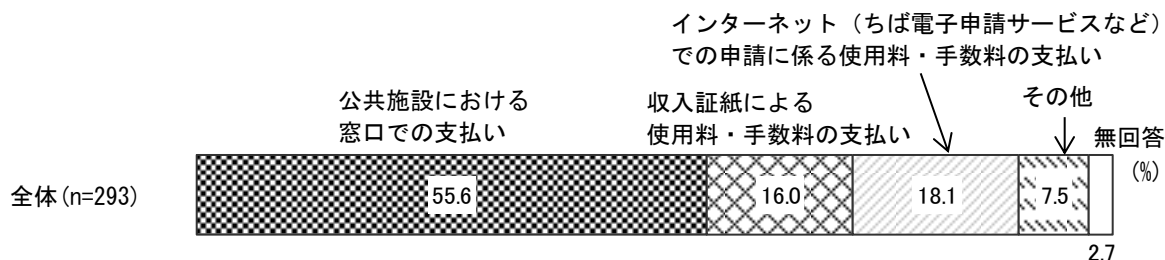
## （１－１）キャッシュレス決済を拡大すべきだと思う場面

◇「公共施設における窓口での支払い」が５割台半ば

（問38で「不便に感じることもある」とお答えの方に）

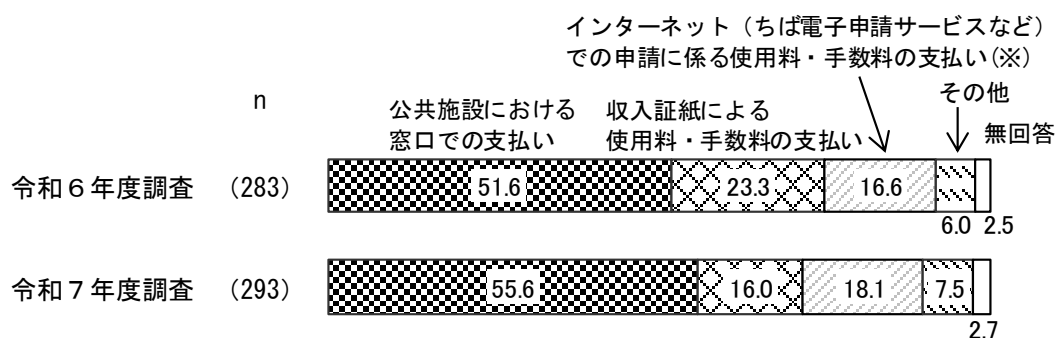
問38－１ あなたは、公金の納付に関して、特に、どの場面のキャッシュレス決済を拡大すべきだと思いますか。（○は１つ）

＜図表 7－3＞キャッシュレス決済を拡大すべきだと思う場面



公金の納付にあたり「不便に感じることもある」と回答した293人を対象に、特に、どの場面のキャッシュレス決済を拡大すべきだと思うかを聞いたところ、「公共施設における窓口での支払い」（55.6%）が５割台半ばで最も高く、以下、「インターネット（ちば電子申請サービスなど）での申請に係る使用料・手数料の支払い」（18.1%）、「収入証紙による使用料・手数料の支払い」（16.0%）が続く。（図表 7－3）

〔参考〕令和６年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

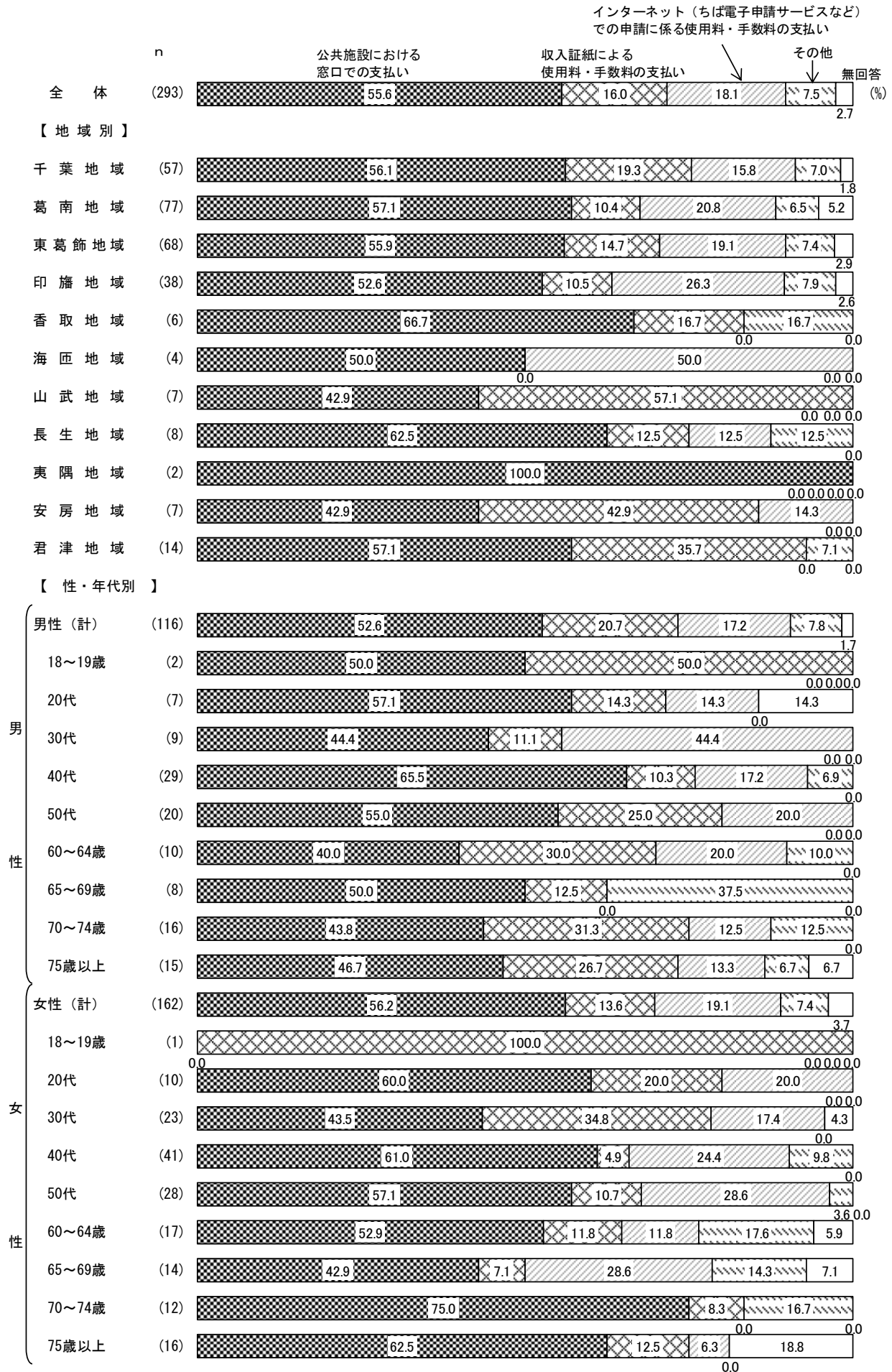


（※）令和 6 年度調査では「インターネット（ちば電子システムなど）での申請に係る使用料・手数料の支払い」

※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

（8 ページ「報告書の見方（５）」を参照）（図表 7－4）

【参考】＜図表 7-4＞キャッシュレス決済を拡大すべきだと思う場面／地域別、性・年代別

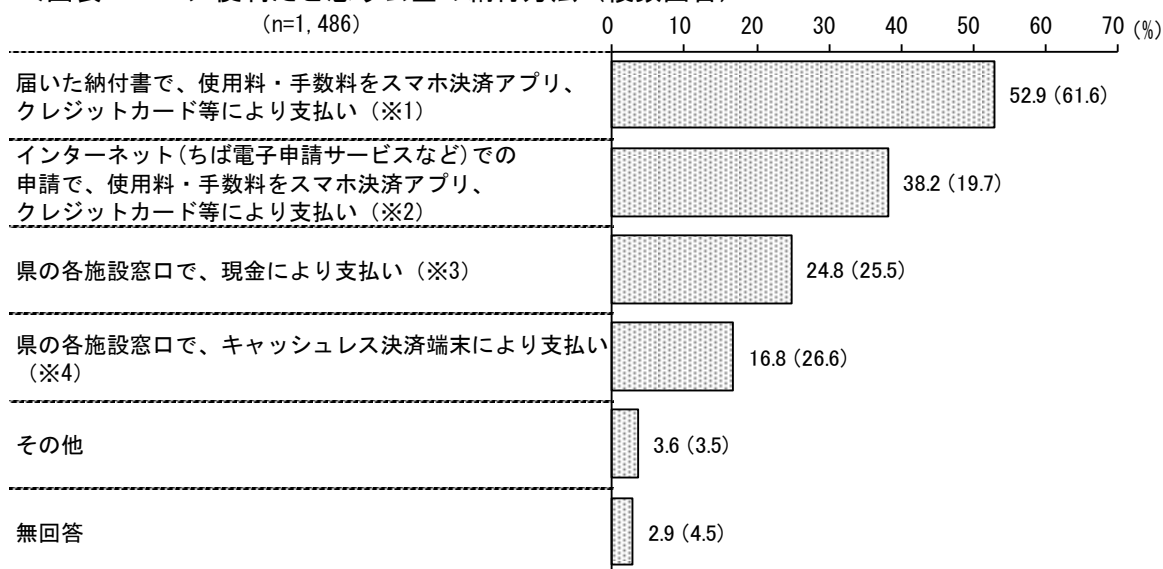


## （２）便利だと思う公金の納付方法

◇「届いた納付書で、使用料・手数料をスマホ決済アプリ、クレジットカード等により支払い」が５割を超える

問39 あなたは、公金の納付に関し、収入証紙に代えて、どのような納付方法が便利だと思いますか。（○はいくつでも）

＜図表 7－5＞便利だと思う公金の納付方法（複数回答）



注）（ ）の数字は令和6年度の同様の項目による調査結果 n=1,535

（※1）令和6年度調査では「県の各施設窓口以外での、スマホ決済アプリ（PayPay、LINEPay、PayBなど）、クレジットカード（Visa、Master、JCBなど）による支払い」

（※2）令和6年度調査では「インターネット（ちば電子システムなど）での申請による使用料・手数料の支払い」

（※3）令和6年度調査では「県の各施設窓口での現金による支払い」

（※4）令和6年度調査では「県の各施設窓口でのキャッシュレス決済端末による支払い」

便利だと思う公金の納付方法を聞いたところ、「届いた納付書で、使用料・手数料をスマホ決済アプリ、クレジットカード等により支払い」（52.9%）が５割を超えて最も高く、以下、「インターネット（ちば電子申請サービスなど）での申請で、使用料・手数料をスマホ決済アプリ、クレジットカード等により支払い」（38.2%）、「県の各施設窓口で、現金により支払い」（24.8%）、「県の各施設窓口で、キャッシュレス決済端末により支払い」（16.8%）が続く。（図表 7－5）

### 【地域別】

地域別にみると、「届いた納付書で、使用料・手数料をスマホ決済アプリ、クレジットカード等により支払い」は“葛南地域”（59.0%）が約６割で高くなっている。（図表 7－6）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「届いた納付書で、使用料・手数料をスマホ決済アプリ、クレジットカード等により支払い」は女性の20代（71.4%）が７割を超え、女性の30代（70.9%）が７割、女性の40代（67.7%）が約７割、女性の50代（61.9%）が６割を超えて高くなっている。

「インターネット（ちば電子申請サービスなど）での申請で、使用料・手数料をスマホ決済アプリ、クレジットカード等により支払い」は男性の40代（68.2%）が約７割、男性の30代（60.4%）

と男性の20代（60.0%）が6割、女性の30代（53.2%）が5割を超え、男性の50代（50.0%）が5割、女性の50代（47.6%）が約5割、女性の40代（45.8%）が4割台半ばで高くなっている。

「県の各施設窓口で、現金により支払い」は女性の70～74歳（41.9%）と女性の75歳以上（41.4%）が4割を超え、男性の75歳以上（39.8%）が約4割で高くなっている。（図表7－6）

＜図表７－６＞便利だと思う公金の納付方法（単一回答）／地域別、性・年代別（上位６項目）

